

安全回覧板

第1号

平成28年1月18日

先日の軽井沢でのバスの事故は乗客乗員15名が死亡並びに多数のけが人が出ました。
これを機に国土交通省、近畿運輸局等のチェックも厳しくなると予想されます。

運送会社にとって、最大のリスクは第一当事者となる重大事故です。
重大事故とは、死者を出す事故及び死者が出ずとも多数の負傷者が出る事故で
この事故を起こすと必ず会社に警察の捜査、運輸局の査察が入ります。
そして、その結果、営業停止となり同僚にも迷惑が掛かります。
何よりも事故を起こした本人が大変ですし、一番大変なのは家族です。

家族を守るためにも、自分を守るためにも安全に徹して下さい。
頭の中を安全運転へとシフトして下さい。

会社としてもリスクを回避するために出来る限りのことを行っていますので
協力のほど宜しくお願い致します。

今週の安全行動指針

<追突事故防止につとめる>

トラック事故で最も多いのは、実は追突事故です。
トラックが第1当事者となった事故の53%は追突事故、乗用車の約2倍で、致死率となると
乗用車より10倍も高くなっており、重大事故につながり易いといえます。

トラックに追突事故が多い理由

- ①運転席が高いため路面がよく見え車間距離をつめやすい
- ②視界が広く前方が開けてるため、漫然と運転し、前方不注意になりやすい

追突事故を防止するために

- ①前車に接近しすぎてないか
- ②前車の動きに注意をはらっているか
- ③スピードを出し過ぎていないか
- ④交差点では前車の減速や停止に注意をしているか

ヒヤリハット
記入欄

サイン・押印 欄
